

再始動

モデル施設（北九州）
特別養護老人ホーム 誠光園

教育担当 中武亜希子



ノーリフティングケア取り組みの歩み

7年前
(H26年)

移乗中に**皮下出血**や**表皮剥離**が多数

力任せの介護をゼロにするため
福祉用具の利用が始まる



必要な福祉用具を購入

導入した福祉用具 フットサポートアームサポート開閉可能
車いす (20台)



スライディングボード (3枚)



シート、グローブ (6組)

ボードを使用せず抱え上げの移乗をする職員がいた

ノーリフティングケア取り組みの歩み

6年前 (H27年) 事業計画で「抱え上げない介護」^(注1) 取り組み開始

スライディングボードでの移乗ができる環境を整備



使いやすい環境を整え
スライディングボードを
使用するようになる



注1：抱え上げない介護とは、ご入居者を守る目的
ノーリフティングケアとは、職員とご入居者を守る目的

ノーリフティングケア取り組みの歩み

- 5年前 (H28年)
- 一部のご入居者を抱え上げていた
 - スライディングシート、グローブは使用されず
 - 介護職員が「ご入居者の姿勢を心配するようになる」



スライディングボード必要枚数揃えたが、利用されず

- トイレや入浴が抱え上げ介助
- 抱え上げが残っていたため、トイレで抱えてるから「ま、いいや」という考があった

スタンディングリフト導入(トイレ○ 入浴×)

スタンディングリフト (1台)

導入した福祉用具



ノーリフティングケア取り組みの歩み

4年前
(H29年)

職員の身体を守り、ご入居者の安全安心な生活を守る
「ノーリフティングケア」教育が始まる

専門の外部講師による研修開催 (1.5時間の集合研修を不定期開催)

(ノーリフティングケア技術、ポジショニング、シーティング、排泄ケア、口腔ケアなど...)

ノーリフティングケア関連の外部研修へ参加



一部の職員が知識と技術を身に付けても
ノーリフティングケアの質は向上しなかった
マネジメント、体制づくりが必要と感じた

ノーリフティングケア推進委員会を
現場職員中心に7名で結成



ノーリフティングケア取り組みの歩み

3年前
(H30年)

唯一、抱え上げを行っていた浴室にリフト導入

導入した福祉用具 スタンディングリフト1台

脱衣室用リフト1台



自動体位変換マットレス (1台)



床走行式リフト1台



電動ベッド1台



- ノーリフティングケアの福祉道具が揃った
- カンファレンス開始、ケアの見直しを多職種で検討
- 近隣の病院や施設向けに「施設見学会」開催

令和元年 誠光園・誠光園アネックス 施設見学会

参加無料 (要予約) 先着15名様

施設見学・試食会(和食、洋食) 13:00~ 質問会(和食、和食、和食) 14:10~

日時: 9月19日(木) 13:00~14:30(12:45開場)

場所: 誠光園 水影池の森に隣接する施設

住所: 八幡原区長町3-1

交通: 路線バス44番「長見町」バス下車 徒歩2分

お問い合わせ先: 0293-443-2030 誠光園 (総機・庶務室)

「抱え上げ、引きずり、不慮姿勢」ゼロ!

「持ち上げ」「引きずり」「蹴り出し姿勢(不慮姿勢)」によって体の重心が前傾、片足で立つ(重心が前)、片足で立つ(重心が前)、片足で立つ(重心が前)などの危険な動作、抱え上げの姿勢が崩れやすくなります。また、床下歩行が原因で怪我が発生。

福祉用具を積極的に介助に用いています。安全・安心な生活を提供できる介助に取り組んでいます。

スライディングシート、ポジショニングクロー、トイレ、リフト等、入浴、ベッド等

抱え上げの削減



目標や計画が大まかで細かな修正ができず未達成、未実施が続く

ノーリフティングケア取り組みの歩み

2年前
(H31年)

ノーリフティングケア推進委員会を余儀なく解散

“ノーリフティングケアはやったほうがいい”
ということは全職員がわかっていたが、
“早く終わらせたい”気持ちが優先され、
抱え上げ介護に戻っていった

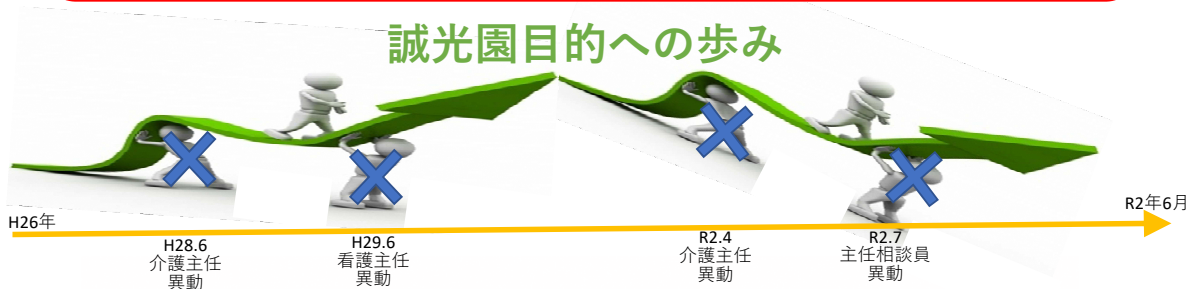


前腕と下腿の皮下出血が多くなっていた

半年前
(R2年6月)

体制の変動

- 中心的なメンバーが法人内の他施設に異動となり、求心力、統率力が低下
- ひとりがほとんどの役割を担っていたため、異動後に組織の立て直しが必要であった
- 次世代の育成ができていなかった
- ノーリフティングケアが衰退した



ノーリフティングケアが
維持できなくなっていた

福岡県ノーリフティングケア 普及促進事業参加

施設長
「やるでしょ！」
と乗り気



でも...
過去に委員会
解散したし...

仕事が増える
さらに余裕がなくなる...

でも...私の方では
ノーリフティングケアの
立て直しをできないし...

- R2年6月ノーリフティングケア推進委員会再結成
- 委員会メンバーに施設長が参加
- 職種、社員・パート関係なく、実行力あるメンバーを選出

- 他施設からの取り組み報告でヒントが見つかるかもしれない
- 自施設だけが苦勞しているわけじゃない
- 共感できる仲間がいればモチベーションの維持ができるかもしれない

再始動時の環境

(R2年6月)

人の環境

- ノーリフト®協会ベーシック認定者4名
- NPO福祉用具ネット第1期実技認定合格者1名
- NPO福祉用具ネット研修第3期受講者1名
(4名受講、内3名は同一法人他施設へ異動)
- リフトリーダー2名
- オムツフィッター3級取得3名



物の環境

- 移乗用具：床走行式リフト3台、脱衣所リフト1台
スタンディングリフト3台、
タッチアップC(回転台)1台
フレックスボード4枚、
スライディングボード10枚
シート・グローブ30名所持
(介護職員、介護支援専門員、機能訓練指導員)
- 見守り支援機器：眠りSCAN1台
- 情報交換ツール：タブレット4台
スマホ(インカム)30台
大型モニター掲示板2台
Googleで情報を管理



再始動時の問題点

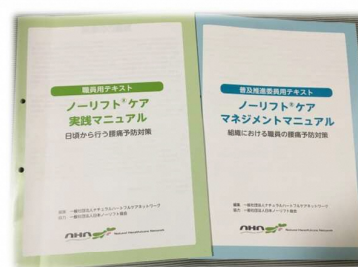
- 新入職員に対して**指導マニュアルがない**
- ノーリフティングケアを継続する**教育カリキュラムがない**
- 福祉用具は使用しているが**腰痛で休む職員**がいる
- ご入居者の生活支援に**職員都合が優先**される
- 手間を嫌がり**スピード重視のケア**をする職員が存在する

**マネジメント
ができていない**

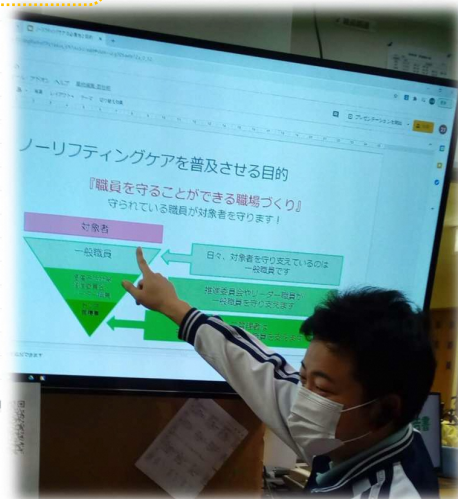


目標：全職員がノーリフティングケアを理解する

- 振り返り研修未実施
- 職員都合が優先され、スピード重視のケア
 - テキストを参考に施設内研修用スライドを作成
 - 1回30分、2~4人ずつ38名に対し研修
 - 研修終了後、理解度チェックを実施
 - 腰痛調査結果を伝える



新入職員教育リスト	委員会の目的 (議案の みちえん)	ヒヤリ・事 故	腰痛	N氏の介助位 達	退員設備場 所	STEPテスト (確認)
<input type="checkbox"/> 気づき報告書	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ラジオ体操準備	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> Google中級編	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> Google上級編	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> エプロン乾燥	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> エプロン乾燥	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 口腔ケア	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 食事介助	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 食事介助	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 食事介助	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



理解度チェック：全職員100点取得

目標：全職員がリスクを抽出できる

- 「ヒヤリハット報告」の主な内容は軽微な事故
- 提出後の対処がほぼ実行されていない

- 「ヒヤリハット報告」→「気づき報告」名称変更
- Googleフォーム（アンケート集計ツール）を利用
- 1人1日1件以上の報告
- 委員会で週1回2時間の検討会開催

気づき報告書

利用者氏名: 報告が関係する場合は、申し添えてくださいが必ずお書きください。
職員氏名: 中野 美穂子

利用者氏名	時間	場所	分類	解決できた方法を記入してください。	解決できた。気付
	3:00	居室		利用者同士のト300円の扉に入っていた。窓の扉に行こうとされた。	
	7:10	居室	外傷	リフトでの乗降の際、本氏の手動き、リフトの戻る部分を掴まれ	
	8:00	居室	その他	肌着がけの対応で後輩、ゆではなかった。	
	9:00	居室	施設管理	居室洗面所にアルコールボトルがない	
	3:00	食堂	その他	職員用の椅子のコロナの汚れが拭いていない	
	5:20	食堂	転落・転倒	清潔室に水がこぼれていた。	
	5:00	食堂	食中毒・感染病	差し入れの量が大量にあり、病室内に提供できない可能性あり。	
	2:00	食堂	その他	ウェットティッシュがない	
	9:00	食堂	転落・転倒	テーブルから立ち上がり方が悪く、からつきが何回か	
	2:30	食堂	転落・転倒	清潔室からトイレへ向かう際、手すりから滑り落ちた	
	5:00	浴室	転落・転倒	浴室から浴室へ歩行中に手すりから滑り落ちた	
	4:30	食堂	転落・転倒	清潔室の椅子が出しっぱなしで車椅子を走行するの邪魔になって	
	9:00	居室	紛失・破損	おたけの袋に裏面が回収できていなかった袋のポケットにい	
	9:30	居室	紛失・破損	20年二階と三階の廊下の部分の床が剥がれていた。	
	7:55	食堂	転落・転倒	清潔室、オーバートレーを押し、後ろに倒れるようになる	
	9:00	廊下	その他	シューズで来たことを忘れて、デイスの方向に行こうと	
	8:40	居室	紛失・破損	車椅子のタイヤ空気穴のキャップなし	
	8:45	居室	その他	ナースコールの音が消音	
	9:25	居室	その他	ベッド欄が解放	
	9:00	居室	転落・転倒	清潔室の椅子が入っている際、止り止るシートがずれていた。	
	9:40	その他	食中毒・感染病	オムツ交換台サンバー2に、後輩の手が触れていた	
	2:00	食堂	読書	読書の袋が奥に入ったままお盆に寄せられていた	
	4:15	その他	紛失・破損	本人持ちの杖が扉の裏にあった	
	3:30	食堂	その他	3階食堂にある洗面台が水で濡れていたのでも拭き拭	
	9:30	その他	その他	バスリフトの動きが悪い	
	8:50	居室	転落・転倒	自販機の横を歩いたまま歩かれており、置きがけ	
	2:15	居室	転落・転倒	清潔室の椅子の姿勢が正しくできてなかった。	

- 軽微な事故ではなく、リスクを抽出できるようになった
- 気づき報告 対処率58.9%**

目標：ノーリフティングケア技術を介護看護職員が実践できる

実践できる職員できない職員が把握できていない

- 勤務時間内に研修を実施
- 研修計画を作成
- 健常者相手にできるまで反復研修
- 予習復習できるように実技動画を常時再生



- 200項目合格 / 全288項目 (9項目 × 32名)
- 合格率69.4%**
- チェック表でできない職員がわかる

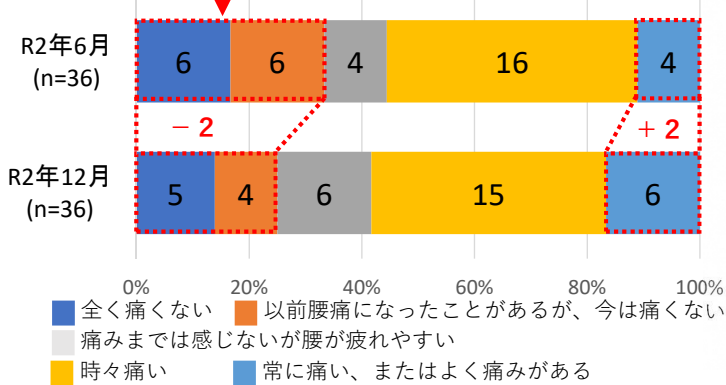
部署	氏名	2020/11/18	2020/12/09	2020/12/10	2020/12/11	2020/12/11
新野	後藤	○	○	○	○	○
	石橋	○	○	○	○	○
	松本 (節)	○	○	○	○	○
	生山	○	○	○	○	○
	松本 (幸)	○	○	○	○	○
	横田	○	○	○	○	○
	徳重	○	○	○	○	○
神野	手塚白	○	○	○	○	○
	手塚	○	○	○	○	○
	安	○	○	○	○	○
	小林	○	○	○	○	○
	中野	○	○	○	○	○
	魚谷	○	○	○	○	○
	山方	○	○	○	○	○
	任意 (幸)	○	○	○	○	○
	徳重	○	○	○	○	○
	手塚白	○	○	○	○	○
久部	三浦	○	○	○	○	○
	志保	○	○	○	○	○
	三浦	○	○	○	○	○
	三浦	○	○	○	○	○
	三浦	○	○	○	○	○

目標：中腰にならない環境を作り 新たな腰痛を起こさない

- 腰痛が原因で仕事を休む
- 座位のご入居者の介助時にリスクあり

- 始業前にご入居者とラジオ体操
- 業務中は常にシート、グローブを装着
- 中腰姿勢をさせない対策

腰痛調査結果



抱え上げ“一部あり”4名
研修と実践に行動の差あり

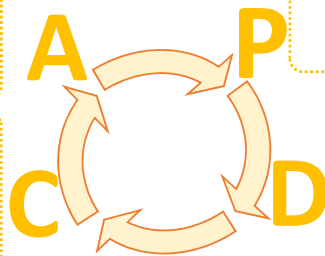
目標：PDCAサイクルを循環させ、 皮下出血、表皮剥離をゼロにする

ご入居者：トイレ移乗後に皮下出血や表皮剥離発見が多発

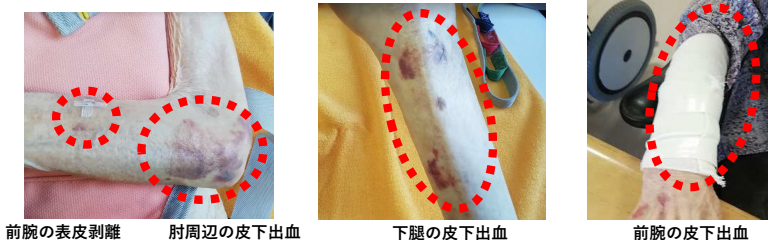
- アームサポート内側の接触が原因
- シーティングを統一

スタンディングリフト
床走行式リフト

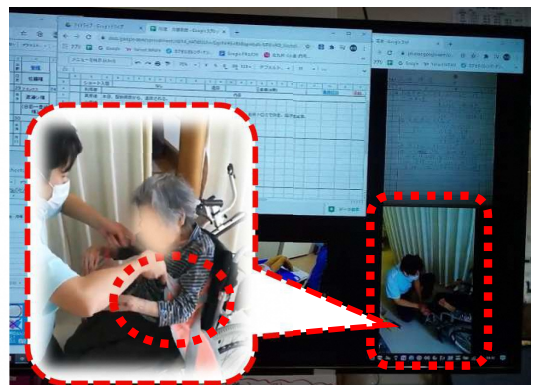
- 動画撮影し常時再生
- 排泄介助の実践指導



皮下出血・表皮剥離件数



前腕の表皮剥離 肘周辺の皮下出血 下腿の皮下出血 前腕の皮下出血



全職員が同じ支援をすることで原因を見つけやすくなった

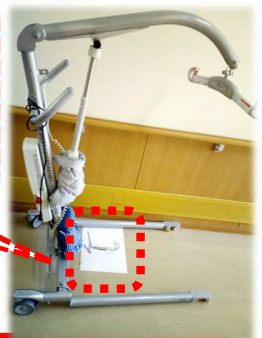
目標：福祉用具のメンテナンスができる

- 不備、故障に気づいていない
- 清潔保持ができていない
- 決められた場所に戻されていない
- ご入居者との配置場所を検討していない

- ラウンドチェック表を作成
- 配置場所を再確認
- 使いやすい環境づくり
- ご入居者の居室変更
- 個人のシート、グローブの定期交換



項目	確認	備考
A ベッド向きの確認	<input checked="" type="checkbox"/>	
必要の器具	<input checked="" type="checkbox"/>	
清潔	<input checked="" type="checkbox"/>	
配置場所	<input checked="" type="checkbox"/>	
使用状況	<input checked="" type="checkbox"/>	
個人用品	<input checked="" type="checkbox"/>	
その他	<input checked="" type="checkbox"/>	



介護職員が業務中に福祉用具の管理ができるようになった

目標：アセスメントシートが記入でプランニングできる

- 既存のアセスメントシートが4種類存在
- 職種で書式が異なるが、項目は共通

新アセスメントシートの作成

	施設長	介護主任	ケアマネ	看護師	栄養士	機能訓練指導員	担当者	相談員
アセスメントシート								下見
健康状態								
病歴	老年期うつ病 認知症 前立腺がん 脳結核がん 線内癌 側弯症			軽度虚血性心疾患 両目網膜中心静脈閉塞症				
知っていただくべき	精神薬・緩下剤・屯用など			ピカルタミド デノタスチュアブル ※目薬				

基本動作	
自立→歩行・全分動	必要の道具： ベッドのサイドレールを戻って位置の確認を行いながら自力で寝返り可能。左右の寝返りに加え上下向きを変える事も可能。
自立→歩行・全分動	必要の道具： 手すりを持って起き上がることが出来る。
自立→歩行・全分動	必要の道具： ベッド上での動き自力で可能。手すりをつかまり寝がら位置の確認を行い寝返り可能。 視力障害があるので、手すりや椅子の形状や距離・高さ等必ず声掛けを行う。
自立→歩行・全分動	必要の道具： 何かにつかまりながら立ち上がることが出来る。ベッド周辺を構構きされる。 視力障害があるので周辺環境を整える必要あり。転落・転倒のリスクあり。 活動ある時は立ち上がる。
自立→歩行・全分動	必要の道具： 何かにつかまりながら、支えあれば立位保持可能。
日常生活活動(ADL)	
経管栄養	kcal
経口摂取	kcal 食事制限 なし(60) 心臓病(5) 制限食 (なし) (あり)
主食	普通・軟飯 (全粥) 粥(米)・粥(ゼリー)
副食	普通・一口大 (細か) ソフト・ミキサー
飲料	普通・トイレット(お餅)・(ぬい)・汁ミキサー・汁ゼリー
水分	普通・トイレット(お餅)・ぬい・ゼリー
食事	食器:保温食器・特製食器・その他()

アセスメントシートを1本化

3か月毎のカンファレンス資料とし、ケアの見直しを行う

半年後の目標



スピード重視のケア消滅



達成した項目の継続、カイゼン

ノーリフティングケア 発展

委員会の仲間を増やす



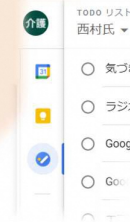
身体を守る心構えの育成



「守るっ隊」

労働安全衛生パトロール

異動があっても
体制維持ができる方策



教育マニュアル、育成カリキュラム

ご清聴ありがとうございました

